

ビジネス社 News Release

スリーマイル島の現地取材から、フクシマの 30 年後を予測するドキュメンタリー

『原発事故 未完の収支報告書 フクシマ 2046』

「フクシマの未来が、スリーマイルにある」

(著者) 烏賀陽弘道

(価格) 1,200 円 + 税 <発売日> 2015 年 2 月 20 日 <出版元> ビジネス社

株式会社ビジネス社(東京都新宿区:代表取締役社長 唐津隆)は、2015 年 2 月 20 日に『原発事故 未完の収支報告書 フクシマ 2046』を発売いたしました。

本書は、スリーマイル島の現地取材から、フクシマの 30 年後を予測するドキュメンタリーです。スリーマイル島原発事故は 35 年前ですが、健康被害調査、民事訴訟すべて結果が出ております。その幾多の訴訟で、「原告は勝訴したのか? どれほどの補償をうけられたのか?」といった内容が盛り込まれています。

フクシマの被害は 30 年以上の長期にわたると予測されています。著者は、スリーマイル島原発事故のその後を調査することで、「フクシマの未来」(35 年後)が見えてくるのではないかと予測し、スリーマイルとフクシマの取材を重ねました。スリーマイル～フクシマの取材を経て筆者が辿り着いた真実とは。その先に見える「フクシマの未来」とは。放射能被曝による健康被害は立証されず、訴訟は立ち消え、住民は勝てない。燃料棒の抜き取りに 10 年、廃炉が完了したのは 15 年後…スリーマイル現地取材からフクシマの現実と未来を解き明かす、ブラックジョークとしか思えないメルトダウン事故 35 年間の総決算です。



著者: 烏賀陽弘道(うがやひろみち)

1963(昭和 38)年生まれ。京都大学経済学部卒業後、朝日新聞社に入社。名古屋本社社会部、「AERA」編集部勤務などを経て 2003 年退社。以降、フリージャーナリストとして活動。著書に『カラオケ秘史』『朝日ともあろうものが』『報道災害 原発編』(共著)など。

《お問い合わせ先》

株式会社ビジネス社 広報担当: 松矢

〒162-0805 東京都新宿区矢来町114番地 神楽坂高橋ビル5F

E-mail : matsuyapress@gmail.com 携帯 : 090-7261-1982

TEL 03-5227-1602/FAX 03-5227-1603